



JPA事務局ニュース <No.207> 2015年10月6日

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局
発行責任者/水谷幸司
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆2015年度国会請願署名、全国いっせい街頭行動でキックオフ！ —東京はJR中野駅前 森代表理事ら総合的な難病対策訴え—



来年(2016年)の通常国会提出にむけて、日本難病・疾病団体協議会(JPA)は10月3日、国会請願署名行動をスタートしました。難病法や法に基づく基本方針ができて、いよいよ、難病対策の具体化はこれからです。国民の幅広い支持があつてこそ、難病対策は予算を確保でき、

総合的な対策に足を踏み出せるでしょう。

東京・中野駅前では、森幸子代表理事、齊藤幸枝理事会参与をはじめ、8団体20人が街頭に立ち、署名の協力を呼びかけました。

毎年、なぜか雨に降られることの多い、いっせい行動日ですが、今年は快晴に恵まれ、日差しが暑いほどです。「難病はいつ誰が患ってもおかしくありません。治療法の開発はみんなの問題です」「お金のある方もない方も、命は平等。お金が足りなくて、



病院でいい治療できないのはおかしなことです」と話すと、高齢者を中心に、一瞬立ち止まって、一呼吸置いてから、署名する姿が目立ちました。なかには、「私も難病で大変です」といって署名する方や、「難病とはなんですか」と質問される方もいました。

「患者申出療養」が来年4月からスタートします。この日のためJPAでは、独自にポスターを作成し、「金の切れ目が命の切れ目」「薬に保険が効かない『混合診療』を増やすよりも、安心・安全の『医療保険』適応を早く」と訴えました。1か月分の医療費が百数十

